



※だい130ごうの「メス」とくらべて読んでみてね

オス

オシドリ【北海道産動物舎・とどりの村】

春から初夏にかけての繁殖期のオスの羽は、緑色や青、むらさき色やあかるい茶色など、とても色あざやか。つばさにはえているあかるい茶色の羽は、そのかたちから「イチョウ羽」といわれていて、繁殖期にだけ見られる羽。繁殖期がおわる夏にはあざやかな色の羽はすべて抜け替わり、おなじオスとはおもえない、じみなすがたになるよ。
くちばしの色は赤いままかわらないよ。

イチョウ羽

繁殖期→

だい
131
ごう

メスをめぐるたたかいや、なわばりあらそいで、大きさや強さ、美しさをもとめられるオス。
生きものにとって「大きい・強い・美しい」は、健康である証拠なんだ。

ダチョウ【かば館】

たまごはメスがうむけれど、オスもメスとこうたいでたまごをあたためるよ。
オスがたまごをあたためるのは夜。メスとはちがう黒い羽毛なのでまっくらな夜は、敵に見つかりにくいんだ。
ダチョウのオスは、子育て・子守りもするよ。

アムールヒョウ【もうじゅう館】

オスとはにかく体が大きいよ。頭も脚も大きいし、首も太い。ヒョウのなかまのなかでいちばん大きい「アムールヒョウ」。大きいオスだと、体重70 kgにもなるそう。
(ちなみにメスは大きくても45 kgほど)オスは大きくて強いことがたいせつなんだ。

繁殖期→

←繁殖期がおわるとうなる

ライオン【もうじゅう館】

大人のライオンのオスは、顔のまわりに「たてがみ」(首や頭にたくさんはえる長い毛)がはえているので、メスとの見分けがつきやすい動物だよ。オスは、むれを敵から守ったり、子どものあそびあいてをするのがしごと。りっぱな「たてがみ」は、敵におそわれたときに首を守るやくわりがあるし、「たてがみ」が長いと大きく見えるので、メスにモテやすいみたい。

エゾシカ【エゾシカの森】

エゾシカのオスにはメスにはない「ツノ」があるよ。夏はまだツノが茶色い皮でおおわれているけど、秋のおわり・繁殖期をむかえるころには皮がむけ、白くてりっぱな「ツノ」がかんせいするよ。「ツノ」はほかのオスとメスをめぐるたたかいのときに使われるよ。だけど、この「ツノ」、繁殖期がおわると抜け落ちるんだ。また春にはえてくるよ。

↑繁殖期がおわるとこうなる

インドクジャク【クジャク舎】

春から初夏にかけての繁殖期のオスには目玉もようがついた長い羽がはえているよ。これは「かざり羽」で飛ぶための羽とはちがうよ(飛ぶにはじゃまな羽ともいえる)。「かざり羽」の目玉もようがおおいほどメスにモテやすいみたい。
繁殖期がおわる夏には、「かざり羽」はすべて抜けて、またつぎの年にはえてくるよ。

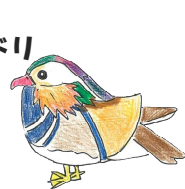
もんだい

繁殖期がおわると、見た目がかわってしまうのはどれ？

①クジャク

②オシドリ

③エゾシカ



こたえは①②③ぜんぶだよ。「①クジャク」のオスは長い「かざり羽」が抜け落ちるし、「②オシドリ」のオスは色あざやかな羽も、「イチョウ羽」も抜けて、じみな色の羽がはえてくるよ「③エゾシカ」のオスは春からはえてきて秋にかんせいしたツノが抜け落ちて、見た目が大きくかわるよ。

こたえ

